

まちの駅なれるかなシート

休憩所になれるかな

【休憩機能】

	必要なもの	もしも…だったら	対応方法(一例です)
トイレ	とにかく、だれでも気軽に使えるトイレがあれば良いです。みんなが気持ちよ～く使えるきれいなトイレは、まちの駅の「顔」です。	お店にトイレがなかったら	近くの公衆トイレ等に案内しましょう。せっかくですから、そのトイレ、なるべくまちの駅の皆さんで常にきれいにしておいてはいかがでしょうか？ まち全体のイメージアップにつながるかもしれません。
休憩スペース	ひとつの椅子とそれを置くことができるスペースがあれば、充分です。	店内にスペースがなかったら	中がダメなら、外に目を向けてみましょう。軒先・店先にスペースはありませんか？
入りやすい雰囲気	商品を買わない人でも入りやすい雰囲気を作りましょう。また、まちの駅になると、「シンボルマーク」を入口に掲示していただくようになります。	シンボルマークだけでは、うまく雰囲気が作れなかったら	入口や、お店の中の目立つ部分に、「トイレや休憩スペースを自由にお使いいただけます」といった掲示をしてみましょう。

案内人になれるかな

【案内機能】

	必要なもの	もしも…だったら	対応方法(一例です)
笑顔と心	「まちの駅」で一番大切なもの。それはまちの駅で応対する案内人さんの、「笑顔」&「おもてなしの心」&「まちを愛する心」です。	自信がなかったら	まずは、「まちの駅ってなあに？」と聞かれた時のために、駅長さん、案内人さん全員で、まちの駅のことを勉強しましょう。まちの駅に関心をもってくださった「あなた」なら、「笑顔」も「心」もOKなのですから。
地図、観光パンフレット	まちの地図やパンフレット(市町村役場や観光協会で購入)を備えておいて、必要なお客さんに、いつでも差し上げられるようにしておきます。	地図等が手に入らなかったら	「ないのなら、作ってしまえ、まちの地図」。よく聞かれるお店や名所旧跡を、手づくり地図にまとめるのも、楽しいかもしれません。
地図等を入れるラック	ラックは素材も形も決まりはありません。お金をかけず、アイデア出して、まちの駅の「個性」がキラリと光るラックを、創作してはいかがでしょうか？	ラックを置く場所がなかったら	「見本」として、手許の地図やパンフレットを、壁に張り出したり、一覧表にしたり。「これ、ほしい！」と言われたら、奥から「新品」を持ってきましょう。

ふれあいの場になれるかな

【交流機能】

	必要なもの	もしも…だったら	対応方法(一例です)
交流のしかけ	餅つき大会、ミニコンサート、ウィンドウギャラリーなど、思わず足を止めて参加したくなる「しかけ」をやってみましょう。	人手も・お金も、なかったら	「まちの駅来場100人目にお店の商品プレゼント!」。あまり手がかからず、「思わぬよこび」にひたれる「しかけ」を考えた駅長さんがいらっしゃいました。

他のまちの駅と仲良くなれるかな

【連携機能】

	必要なもの	もしも…だったら	対応方法(一例です)
全国大会・駅長会議等への出席	連絡協議会が主催するまちの駅全国大会や各県単位で行われる駅長会議(まちの駅連絡会)、だれかが突然思いつく「まちの駅連携イベント」などに積極的に参加すれば、各地のまちの駅とつながりをもつことができます。	知らない人ばかりのところへ出て行くのは……	まちの駅の駅長さんは、みんな「まちを愛する心」にあふれ、「まちを元気にしたい」という同じ志を持った人ばかり。安心して、お出かけください。行く前より、2倍元気になるれます。

まちの駅になることに決めた!

まちの駅としてシンボルマークを掲げるために、そして全国のまちの駅と仲良くなるために、NPO地域交流センター(東京都)が事務局をつとめる連絡協議会に入会することになります。

年会費は1万円です。

ひとつの地域で複数のまちの駅が団体に連絡協議会に加入する場合は、団体単位の会費が適用される場合があります。

